

中央大学

## 第20回 高校生地球環境論文賞

### 結果発表!!

高校生に地球環境問題を考え、さまざまな角度から問題提起してもらうことを目的として、中央大学が募集をしている「高校生地球環境論文賞」。20回目となった今回、181通の応募作品の中から最優秀賞に選ばれたのは、島根県出雲高等学校2年・浦上慧伍さんの「地域社会におけるエシカルポイントの活用に関する研究」だ。

応募作品 181通!

たくさんのご応募ありがとうございました。

### エシカル消費という誰もが簡単にできる環境活動をもっと多くの人に知って欲しい

「エシカル」とは、直訳すると「倫理的」という意味の形容詞。近年、「環境保全や社会貢献」という意味合いで使われるケースが多い。例えばエシカル消費とは、一般社団法人エシカル協会によると「地域の活

性化や雇用なども含む、人や地球環境、社会に配慮した消費やサービス」とされている。このエシカル消費について浦上さんは中学時代に授業で学んだことがきっかけで高校でも研究活動を継続。さらに誰もが簡単にできるエシカル消費という活動をもっと多くの人に知って欲しい、それが地域社会に輪として広がってほしいと

いう思いから今回応募に至ったそうだ。審査員を務めた中央大学経済学部の佐々木創教授は、「先行研究の評価や実験のオリジナリティが確認でき良い論文。サンプル数を増やして統計分析ができればさらに良い」と講評。今後の研究活動にも期待を寄せている。今後の目標について浦上さんに伺ったところ、「環境問題をはじめ、社会問題に興味を持つきっかけを与えてくれたのは

中学時代の恩師でした。憧れの教育者であり、私の目標です。その先生のような教育者になって、社会の日の当たるところがあれば、必ず影になってい

るところがある、私たちの小さな取り組みで社会は変えられる、そんなメッセージが授業を通して伝えられる教員になりたいです。」と話してくれた。

賞別	受賞者
最優秀賞	浦上 慧伍: 島根県・出雲高等学校 (2年) 地域社会におけるエシカルポイントの活用に関する研究
優秀賞	カメプロジェクト: 愛知県・佐屋高等学校 (3年) カメ問題から生まれた生物多様性の保全と循環型有機農業
	尾上 愛菜: 東京都・お茶の水女子大学附属高等学校 (2年) 気候変動が野鳥に与える影響
	平井 亮太: 東京都・玉川学園高等学校 (3年) LEDライトで育てたサンゴによる白化地域の再生を目指して 〜サンゴと地虫藻の共生メカニズム〜
佳作	中村 静香: 大阪府・大阪教育大学附属高等学校平野校舎 (3年) タイ王国におけるごみ問題に国民が向き合う方法とは —絵本の制作によるリユース方法の考案—
	渡部 幸音: 北海道・立命館慶祥高等学校 (2年) 地球にはじめからあったもの

食品科学部 長崎県・諫早農業高等学校 (2年)	山田 大翔 富山県・富山国際大学付属高等学校 (3年)
岐阜県立加茂高等学校自然科学部 岐阜県・加茂高等学校 (3年)	田中 暖乃 愛知県・工芸高等学校 (3年)
森脇 花楓 東京都・お茶の水女子大学附属高等学校 (1年)	探究科7班 山梨県・甲府第一高等学校 (2年)
淺野 陽介 山梨県・甲府高等学校 (3年)	応用微生物班 静岡県・星陵高等学校 (2年)
堀内さやか 北海道・立命館慶祥高等学校 (3年)	遠近 深空 大阪府・福雲高等学校 (2年)
リップアメリ 群馬県・中央中等教育学校(中高一貫5年)	横田 千花 東京都・国際高等学校 (1年)
伊藤 真衣 愛知県・海高等学校 (1年)	高橋 福海 東京都・国際高等学校 (1年)
機能性高分子化学班 静岡県・星陵高等学校 (3年)	松浦 杏莉 岡山県・清心女子高等学校 (2年)
阿部栗乃華 東京都・お茶の水女子大学附属高等学校 (1年)	猪野 航大 神奈川県・藤嶺学園藤沢高等学校 (2年)
島本 龍太 東京都・工業高等学校 (3年)	川野 結子 東京都・お茶の水女子大学附属高等学校 (1年)
宮澤恵理奈 埼玉県・源徳与野高等学校 (2年)	高橋 そら 愛知県・滝高等学校 (2年)

宇沢弘文記念学校賞 東京都・国際高等学校

過去の優秀論文が中央大学ホームページで閲覧できます。ぜひご覧ください。  
http://www.chuo-u.ac.jp/usr/jhs\_activity/award/